

# 進化生物学による女性間の関係の理解 ー 持続可能なジェンダーパリティにむけて

2021年3月16日(火) 10:00 – 16:30 オンライン開催  
※参加費用は無料です。

女性の人権保障や地位向上にはジェンダーパリティ（男女比の均衡。以下 GP）の向上が必要です。他方、女性の社会進出を阻害する要因としてクインビー・シンドロームが指摘されています。本研究集会では、女性間の攻撃性と協力性について進化的な観点から考察し、GP の改善に持続性を持たせる方策を検討します。研究者・学生・一般の方、どなたでもご参加いただけます。

## プログラム

- 10:00 - 10:20 開会挨拶・趣旨説明 松本晶子（琉球大学）  
10:20 - 11:00 霊長類におけるメス間の対立と協力 小田 亮（名古屋工業大学）  
11:00 - 11:40 ヒトの協力と競争の進化、そして性差 大槻 久（総合研究大学院大学）  
11:40 - 12:30 休憩  
12:30 - 13:40 Lesser apes? What can female apes tell us about social relationships? ※日本語翻訳有  
Melissa Emery Thompson（ニューメキシコ大学）  
13:40 - 13:50 休憩  
13:50 - 14:30 脳・こころ・ジェンダー：発達認知神経科学的な視座から 平井真洋（名古屋大学）  
14:30 - 15:10 女性同士の葛藤は、性的競争かストレス反応か？ 坂口菊恵（東京大学）  
15:10 - 15:30 休憩  
15:30 - 16:30 総合討論 松本晶子、小田亮、大槻久、平井真洋、坂口菊恵、大平英樹（名古屋大学）



主催：進化ジェンダー学研究会

【参加申込】 [evolugend@gmail.com](mailto:evolugend@gmail.com) へ3月12日（金）までに「参加希望」とメールをお送りください。折り返し参加申込書（Google フォーム）をお送りします。

【参加申込以外のお問合せ】 [evolugend2@gmail.com](mailto:evolugend2@gmail.com) へご連絡ください。

本研究集会開催費の一部には名古屋大学 GRL ジェンダー研究集会助成金を充てています。